

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスぶれも・すい (放デイ)
------	------------------------

公表日 令和7年3月20日

集計期間 令和6年12月1日～12月28日

回収数 126 回収率 90.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	123	3	0	0	・ハードが整っているので、理学PT療育もあるとよいです。千葉ぶれもPTさんいましたので是非ご検討下さい。 ・都度都度細かくご報告いただけます。 ・STの時、隣の方の声の方が大きくて集中しづらくなってしまいう時があります。	・新事業所に移転して1年経過したため、こども達は環境に慣れてきました。 ・こどもの特性、支援内容に応じて、個別療育、集団療育がこどもの活動を制限することのないよう確保に努めたいと思います。 ・隣の声が気になるという指摘では、その後防音室を使用することで改善しました。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	101	11	5	9	・時間帯によると思います。 ・放デイの方にもST・OTがいたらいいなと思います。 ・入りたい枠がいっぱい入れない、受けられないがある。	・人員配置の基準は満たしていますが、後期は言語聴覚士の枠が足りなくなり、キャンセル対応で要望に応えるようにしました。 ・専門性向上のための研修を定期的実施し、意見交換等を通して、専門性の高い支援・療育を行うためのスキルを身につけています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	122	2	0	2		・施設が新しくなったため、構造化された空間になっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	125	1	0	0		・施設が新しくなったため、構造化された空間になっています。昼休憩時と退社前には必ず清掃消毒を行っています。こどもにとって安全な環境になっています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	118	6	1	1	・先生にもよると思います。	・利用確定の際に、こどもの状況を的確に把握し、保護者からニーズの聞き取りを行い、児放課後等デイサービス計画に繁栄させるようにしています。 ・療育内容がニーズと合わない時は、再度保護者様と面談をして調整しています。 ・スタッフの資質の向上を図るため、各種研修をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	116	3	1	6		スタッフ会議で話し合いをした内容を盛り込んでいるため、合っています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	122	3	1	0		・支援担当者は、個別支援計画に沿い、スタッフ間で情報共有しながら、支援内容の工夫しています。 ・保護者の悩みや要望も取り入れ、毎回の療育でこどもの反応や状況に応じて提供するプログラムの内容を考慮しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	117	3	1	5		・本人支援をはじめ、こどもの支援に必要な項目で、具体的に内容を定め、個別支援計画立案時に支援計画作成会議で出た意見を反映させ、渡す時に説明しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	114	6	1	5		・支援計画会議やケース会議時にチームで話し合い、個別支援計画に沿う療育を心掛けています。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	111	9	1	5	・療育中・療育後に保護者とこどもの様子を共有させていただき、常に変化することにも合わせてプログラムを考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	69	14	19	24	・現在、地域の他のこどもと活動する機会は設けていません。各自、学校以外で習い事の中で交流しているこどもが多いです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	121	3	0	2	・契約時に運営規程、利用者負担等については説明をしています。また、変更がある時は、お知らせの文書やぶれもだよりで周知しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	118	5	0	3	・面接時に「個別支援計画」を示しながら保護者に説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	117	4	0	5	・年間計画の中に保護者勉強会として年3～5回、保護者向けのプログラムを設定しています。今年度は、5月から5回コースのペアレント・トレーニング、嘱託医による講演会、先輩ママによる体験談やおしゃべり会を開催しました。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	119	5	1	1	・療育は基本保護者同席のため、療育中・療育後に保護者とこどもの様子を共有させていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	118	5	2	1	・こどもの発達の状況や課題について療育中にも確認し、保護者と情報交換しながらアドバイスをしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	121	2	1	2	・支援担当者は、こどもと信頼関係を築くため、様々なアプローチをしています。 ・こどもが充実感、達成感を持って療育を終えるように、スタッフは常に心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	101	6	0	19	・父母の会はありませんが、保護者勉強会等でおしゃべり会を設け、保護者同士の仲間作りができるように設定しました。次年度もおしゃべり会を計画します。 ・きょうだい同士の交流は現在ありません。必要に応じて考えていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	113	4	2	7	・相談等は、療育中や年2回以上のモニタリング時に行っています。また、必要に応じて随時実施しています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	121	1	1	3	・支援時には、原則、保護者の同席をお願いします。支援後に、保護者と子育てに関する悩みについて相談を受ける時間は用意し、助言等をしています。また、保護者からの相談があった場合に、改めて面談の機会を設けている場合もあります。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	123	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぶれもだより」（広報紙）を毎月保護者あてに発行しています。活動の概要や行事予定、支援の啓発を載せています。 ・業務に関する自己評価については、ホームページへの掲載が必須となっています。今後も、継続して取り組みます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	118	2	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で個人情報保護・漏洩防止についての研修を随時行っています。法令等の確認にとどまらず、職員間で嚴重に注意喚起を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	115	4	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（自然災害・感染症）・各種緊急時対応マニュアルを入り口に置き、いつでも閲覧できます。また、必要に応じて広報紙への掲載や保護者会等で情報提供しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	113	3	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいて、緊急事態を想定した各種避難訓練を毎月行っています。終了後は、スタッフの動きの確認をして改善点等を共有します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	113	6	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画については、いつでも閲覧できるように入り口に置いてあります。また、必要に応じて広報紙への掲載や保護者会等で情報提供しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100	5	1	20	<ul style="list-style-type: none"> ・基本保護者同席のため、事故や怪我が発生した場合、すぐに報告ができます。分離で療育をしている間の事故については、速やかに保護者に連絡を取り、必要に応じた対処をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	124	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同席でもあるので、安心して通所できていると思います。今後も、信頼していただける事業所を目指します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	118	4	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の日を楽しみにしていると保護者からお声を多くいただいておりますが、中にはそうでない子どももいます。スタッフと子どもとの信頼関係を築き、療育の質を上げていくため、研修を重ねます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	112	12	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの人員配置は基準を満たしているものの、子どもや保護者のニーズに沿えないこともあります。スタッフを増やし、言語聴覚士等機能訓練士による療育や個別指導の時間について検討していきます。